

SDGs “持続可能な養老のまちづくり”

何を食べるか、何を着るかといった「お金をどう使うか」という国民一人ひとりの“日々の選択”は社会や地球環境に大きく影響を与えます。毎日をなにげなく過ごすのではなく、自分の選択に責任を持ち、よく考えて行動することが大切です。

エ シ カル 影響を しっかりと 考える

「エシカル」とは、「倫理的な」「道徳的な」という意味を持ち、一般的には、人や社会、環境に配慮した考え方や行動を指す言葉として用いられます。

- ①それって本当に今、必要？立ち止まって考える—似たようなものを持っていませんか？
- ②ポリ袋いりません—マイバッグを持参するよう心がけましょう
- ③使う量を減らす—アクリルたわしを使うことで洗剤の量を減らす など
- ④修理して長く使う—機械を修理する、衣服を修繕するなどして長く使う
- ⑤中古品を再利用する(リユース)—バザーなどを積極的に利用しましょう
- ⑥違うものとして再生する(アップサイクル)—ペットボトルを洋服に、古いデニムをバッグに
- ⑦再資源化する—プラスチック製容器包装、ペットボトル、缶、びん など

令和5年度		令和6年度
1人あたりの燃やせるごみ処理費	21,884円	→ 22,092円
プラスチック製容器包装搬入量	82.93トン	→ 81.61トン

10kgの生ごみ処理費	783円
10kgの燃やせないごみ処理費(1袋)	1,038円

生ごみは
堆肥として畑へ
微生物の力で
安心・安全に
野菜をつくって
ごみをゼロに

プラスチック製容器包装の搬入量が減少しています。プラマーク  のあるプラスチックを分別し、資源としましょう。もったいないを合い言葉に。

☎ 生活と環境を考える会 ☎32-2386
住民環境課 ☎32-1104

「せせらぎに ぼくも魚も すきとおる」

7月は河川愛護月間です

身近な自然空間である河川への関心を高め、流域全体の河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進するとともに、河川愛護意識を醸成することを目的として、7月を河川愛護月間としています。

川は私たちの憩いの場。川にはたくさんの自然があります。
また、堤防は私たちの生命や財産を守っています。
ルールを守って川に親しみ、みんなで川を美しくしましょう。

国土交通省 木曾川上流河川事務所
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/index.html>